

基本的な考え方

- ★ 図書館を学習・情報センター、読書センターとして位置づける。
- ★ 学習・情報センターとしての図書館を活用し、主体的に問題を解決する力をもった子どもを育てる。
- ★ 読書指導や読書環境の工夫を図ることにより読書の楽しさを知らせ、本に親しむ子どもを育てる。
- ★ 子どもや地域の実態に即した読書活動を保護者と一体となって進めていく。

めざす子ども像
めあて(夢)をもち 進んで やりぬく 児童の育成

子どもの実態

- ・ 本が、「とても好き」、「好き」と答える児童が、78%いる。(中間89%)
- ・ 子供は、よく読書をする と答えた保護者が、26.9%いる。
- ・ 夏休みを利用した年1回の親子読書の実施により、親子で本に親しむ時間を作る

具体的指導

判断力の育成

思考力の育成

○「学校図書館を活用した年間指導計画」に基づいた各学年の指導

各教科・領域における指導

学習・情報センター

- インターネット上の使えるサイト収集、提供
- 「課題解決ができる力」を育てるための系統表に基づいた各学年の指導
- 「学校図書館を活用した年間指導計画」に基づく実践
- ICTの活用を考える。
- 「知りたい」体験活動との連動

読書センター

- 個別の状況に応じた年間読書目標の設定
- 「読書通帳」への記録指導
- 子ども達のリクエストにこたえ、本に興味を持つきっかけづくりの充実
- 図書委員会活動の充実

多様なアウトプット

- 調べたことのアウトプット
 - ・パンフレット
 - ・新聞
 - ・図鑑
- 読書したことのアウトプット
 - ・読書感想文(画)
 - ・読書ノート
 - ・おすすめの本の紹介
- 発表の場
 - ・メッセージカードコンクール
 - ・読書祭り
- PBL型授業

読書環境の充実

- 学校図書館のデータベースの活用
- 図書資料の充実
- 図書館運営の推進(図書委員会の活動と連携して)
- 読書時間の確保
 - ・学級読書朝会
 - ・給食準備時間
- 三次図書館・君田図書館との連携(ばんびのお話広場・本の宅配便・出荷講座)
- ボランティアとの連携・読み語り
- 居心地の良い空間の演出
- 「知りたい」体験活動との連動

君田中学校との連携

- 教職員の価値観の共有化と相互理解
- 9ヵ年を見通した教育課程の編成
- 児童生徒の交流
- 地域との連携

家庭・地域との連携

- 地域ボランティアによる読み語り朝会の実施(毎月1回 水曜日)
- ノーメディアデーの実施(PTAとの連携)
- 親子読書の推進(PTAとの連携)
- 君田図書館との連携

表現力の育成